

FS040U User Guide

2023 年 10 月

目次

はじめに	1
同梱品の確認	1
動作環境	2
安全上のご注意	3
医用電気機器近くでの取り扱いについて	7
取り扱い上のご注意	8
共通のお願い	8
本製品についてのお願い	8
SIM カードについてのお願い	9
注意	9
各部の名称と機能	10
ステータスランプ表示の見方	10
SIM カードについて	11
SIM カードの取り付け方	11
セットアップ	12
FS040U Data Connection Manager のインストール	12
FS040U Data Connection Manager のアンインストール	15
FS040U Data Connection Manager	16
FS040U Data Connection Manager メイン画面の見かた	16
FS040U Data Connection Manager の起動	18
FS040U Data Connection Manager の終了	18
接続設定	19
ネットワークへの接続・切断	23
接続履歴	25
PIN 管理	26
ネットワーク設定	29
本体設定	31
ソフトウェアアップデート	36
ネットワークエラーコード	37
付録	38
主な仕様	38
輸出管理規制	39
Declaration of Conformity	39
FCC Regulations	40
RF Exposure Information(SAR)	41
知的財産権	42
オープンライセンスの告知	42

はじめに

このたびは、データ通信専用機種 FS040U(以下、本製品)をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご利用の前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。

※FS040U は、「micro SIM 対応モデル」と「nano SIM 対応モデル」があります。
モデルの区分が必要な場合を除き「FS040U」と記載します。

ご利用いただくにあたって

- ・ 本製品は無線を利用しているため、トンネル、地下、建物の中など電波の届かない所や、屋外でも電波の弱い所、サービスエリア外ではご利用になれません。また、高層ビル・マンション等の高層階で見晴らしのよい場所であってもご利用になれない場合があります。
- ・ 公共の場所、人の多い場所や静かな場所などでは、周りの方の迷惑にならないようご使用ください。
- ・ 海外でご利用いただく場合は、事前にご契約先のお問い合わせ窓口へ確認してください。
- ・ 本書および本書に記載された製品の使用によって発生した損害、およびその回復に要する費用については、当社は一切の責任を負いません。

同梱品の確認

お買い上げいただいた本製品には、次のものが入っています。ご利用になる前に確認してください。
万一、不足していた場合には、ご契約先のお問い合わせ窓口へご連絡ください。

本体	FS040U	1 個
同梱品	クイックスタートガイド	1 部

動作環境

対応 OS	Windows 10	日本語版, 32/64 ビット
	Windows 8.1	日本語版, 32/64 ビット
	Windows 7	日本語版(Service Pack 1 以降), 32/64 ビット
必要なメモリ	Windows 10	推奨 2GB 以上
	Windows 8.1	推奨 2GB 以上
	Windows 7	推奨 2GB 以上
ハードディスク	200MB 以上の空き容量	
インターフェース	USB 2.0 High Speed	

- 上記の環境以外では、動作しない場合があります。また、上記に該当する場合でも、パソコン本体・接続されている周辺機器、使用するアプリケーションなど、お客様がご利用の環境によっては、正常に動作しない場合があります。
- USB アダプタや USB ハブ(モニタやキーボードなどにある USB ポートを含む)などを経由しての動作は保証いたしかねます。
- OS のアップグレードからの動作は保証いたしかねます。

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

この「安全上のご注意」は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための内容を記載していますので、必ずお守りください。

表示区分の説明

次の表示の区分は、表示内容を守らずに誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しております。

 危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
 警告	この表示は「死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。
 注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷を負う可能性が想定される場合および物的損害の発生が想定される」内容です。

図記号の意味

 禁止	本製品の取り扱いにおける禁止事項(してはいけないこと)を示しています。
 分解禁止	本製品を分解すると感電などの傷害を負うおそれがあるので、分解してはいけないことを示しています。
 水濡れ注意	本製品を水に濡らすなどして使用すると漏電による感電や発火するおそれがあるので、水に濡らしてはいけないことを示しています。
 濡れ手禁止	本製品を濡れた手で扱うと感電するおそれがあるので、濡れた手で触ってはいけないと示しています。
 指示	本製品の取り扱いに関する指示事項を示しています。

危険

	<p>直射日光が当たる場所、炎天下の車内、暖房器具のそばなど、高温になる所での使用や、放置はしないでください。</p> <p>発熱、発火、機器の変形や故障の原因となります。また、本製品が高温になり、やけどの原因になる可能性があります。</p>
	<p>高精度な電子機器の近くでは使用しないでください。</p> <p>電子機器(心臓ペースメーカー・補聴器・その他医用電気機器・火災報知器・自動ドアなど)の動作に影響を及ぼすおそれがあります。心臓ペースメーカーやその他医用電気機器をお使いの場合は、電波による影響について各機器メーカー、もしくは販売会社にご相談ください。</p>
	<p>分解、改造をしないでください。</p> <p>火災、けが、感電などの事故または故障の原因となります。</p> <p>本製品の改造は電波法に違反します。</p>
	<p>濡れた手で触らないでください。</p> <p>感電や故障の原因となります。</p>
	<p>浴室などで使用したり、水の中につけたりしないでください。</p> <p>発熱、発火、感電や故障の原因となります。</p> <p>コップのそばなど、液体がこぼれるおそれがある場所では使用しないでください。</p> <p>液体がこぼれて濡れると、発熱、発火、感電や故障の原因となります。</p>

警告

	高所から落下させる、投げつける、踏みつけるなど強い衝撃を与えないでください。 機器の故障、火災、本人や他の人のけがの原因となります。
	USB コネクタに導通性異物を接触させないでください。また、すき間から異物を入れないでください。 発熱、発火、感電や故障の原因となります。
	ガソリンスタンドなど引火、爆発のおそれがある場所では、使用しないでください。 爆発や火災の原因となります。
	電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器にいれないでください。 発熱、発火、感電や故障の原因となります。
	必ず専用の機器をご使用ください。 指定以外の機器を使用すると、発熱、発火、破裂、故障の原因となります。
	車両の運転中に本製品を使用しないでください。 交通事故の原因となります。
	航空機内や病院など、使用を禁止されている場所では使用しないでください。 電子機器や医療機器に影響を及ぼすおそれがあり、事故の原因となります。
	長時間使用しない場合、本製品をパソコンから取り外してください。 感電、火災、故障の原因となります。
	エアバックの近くのダッシュボードなど、エアバッグの展開による影響が予想される場所に本製品を置かないでください。 エアバッグが展開した場合、本製品が本人や他の人などに当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。
	煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態には、すぐに本製品をパソコンから取り外してください。 そのまま使用し続けると、発熱、発火の原因となります。異常に気づいたときは、ただちにご使用をお止めください。
	内部に水などが入った場合には、ただちにご使用をお止めください。 そのまま使用し続けると、感電や故障の原因となります。

注意

	ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。 落下して、けがや故障の原因となります。
	本製品、SIM カードに無理な力を加えないでください。 故障、けがの原因となります。
	車両の電子機器に影響が出る場合は使用しないでください。 本製品を自動車内で使用すると、まれに車両の電子製品に影響を与え、安全走行を損なう恐れがあります。
	湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。 故障の原因となります。
	磁気カードなどを本製品に近づけないでください。 キャッシュカード、クレジットカードなどの磁気データが消えてしまうことがあります。
	お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じことがあります。 異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。
	小さなお子様の手の届かない場所に保管してください。 SIM カードを間違えて飲み込むなど、事故やけがの原因となります。
	子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの内容を教えてください。 使用中においても指示どおりに使用しているかご注意ください。けがなどの原因となります。
	本製品を長時間ご使用される場合、本製品の温度が高くなることがあります。 温度の高い部分に長時間触ると低温やけどになる恐れがあります。

医用電気機器近くでの取り扱いについて

⚠ 警告

 指示	医療機関内における本製品の使用については、各医療機関の指示に従ってください。 医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。
 指示	植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着している場合は、装着部から本製品を 15cm 以上離して携行および使用してください。 電波により植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。
 指示	身動きが自由に取れないなど、周囲の方と 15cm 未満に近づくおそれがある場合には、本製品を使用しないでください。 付近に植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医療機器を装着している方がいる可能性があります。電波により植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。
 指示	自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。 電波により医用電気機器の動作に影響を与える場合があります。

取り扱い上のご注意

共通のお願い

- お手入れは乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)で拭いてください。
アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- 端子は時々乾いた綿棒などで清掃してください。
端子が汚れていると接触が悪くなり、電源がきれる原因となりますので、端子を乾いた綿棒などで拭いてください。また、清掃する際には端子の破損に十分ご注意ください。
- エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。
急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。
- 本製品に無理な力がかからないように使用してください。
多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりすると、内部基盤などの破損、故障の原因となります。

本製品についてのお願い

- 極端な高温または低温、多湿の環境、直射日光のある場所、ほこりの多い場所は避けてください。
- 一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。
- 本製品を落としたり、衝撃を与えたしないでください。
故障、破損の原因となります。
- パソコンにUSBコネクタを接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。
故障、破損の原因となります。
- 移動するときは、本製品をパソコンから取り外してください。
故障、破損の原因となります。
- 使用中、本製品は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。

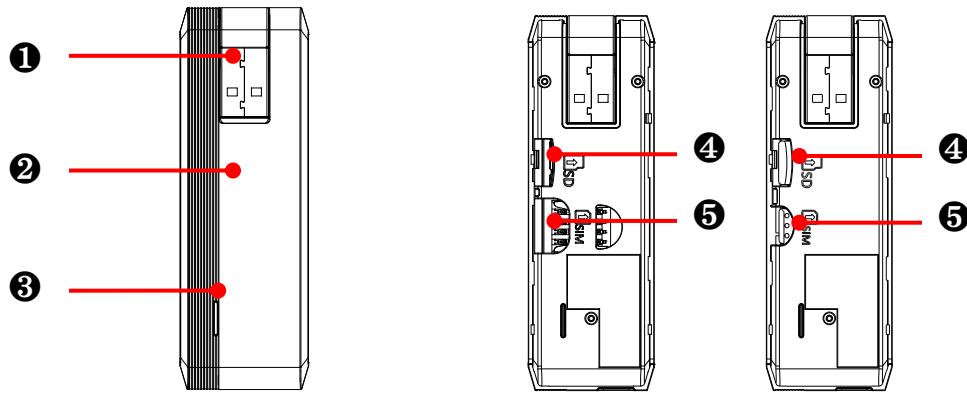
SIM カードについてのお願い

- ・ SIM カードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないでください。
- ・ IC 部分(金属面)はいつもきれいな状態でご使用ください。
- ・ お手入れは乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)で拭いてください。
- ・ IC を傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。
データの消失、故障の原因となります。
- ・ SIM カードを落としたり、衝撃を与えるたりしないでください。
故障の原因となります。
- ・ SIM カードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。
故障の原因となります。
- ・ SIM カードにラベルやシールなどを貼った状態で、本製品に取り付けないでください。
故障の原因となります。

注意

- ・ 改造された本製品は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法に抵触します。
本製品は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けており、その証として「技適マーク」が本製品の銘版シールに表示されております。本製品のねじを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願ひいたします。

各部の名称と機能



micro SIM 対応モデル nano SIM 対応モデル

名称	機能
① USB コネクタ	パソコンの USB ポートに接続します。
② 本体カバー	SIM カード、SD カードの付け外しをするときに取り外します。
③ ステータスランプ	本製品の状態を示します。
④ SD カードスロット	micro SD カードを取り付けます。
⑤ SIM カードスロット	micro SIM または nano SIM カードを取り付けます

※本製品は micro SIM 対応、nano SIM 対応の 2 つモデルがあります。

対応した SIM カードを使用してください。

※製品出荷時は SD カードをご利用できません。

ステータスランプ表示の見方

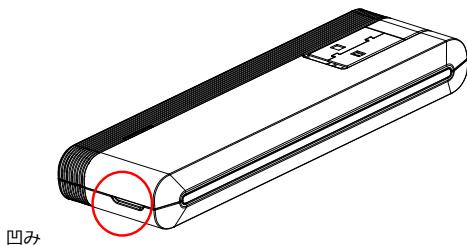
色および点灯パターン	状態
複数色で点滅	起動中
赤色点滅	圏外
赤色点灯	SIM カード未挿入・異常
	PIN ロック
水色点滅	待機中
紫色点灯	3G(WCDMA)通信中
青色点灯	3G(HSPA)通信中
緑色点灯	4G(LTE)通信中
黄色点灯	製品のアップデート中

SIM カードについて

SIM カードは電話番号などお客様の情報が記録されている IC カードです。本製品に取り付けないと、データ通信などを利用することができません。本製品を利用する前に SIM カードを取り付けてください。

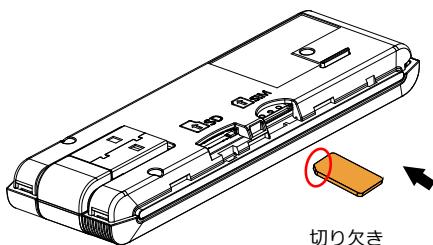
SIM カードの取り付け方

1. 本体にある凹み部分に指を入れ、本体カバーを取り外します。



2. SIM カードの IC 部分を下に向けて、SIM カードスロットに挿入します。

挿入する際は、挿入方向(切り欠きの向き)にご注意ください。



※nano SIM 対応モデルは SIM カードを「カチッ」と音がするまで SIM カードスロットの中へ挿入してください。

※nano SIM スロットの上面(金属面)から無理な力をかけないでください。

3. 本体カバーを取り付けます。

注意

- ・ SIM カードの IC 部分に触れたり、傷をつけたりしないように注意してください。
- ・ SIM カードを無理に取り付けたり、取り外さないでください。故障の原因となります。
- ・ パソコンに本製品が接続された状態で SIM カードを取り付けたり、取り外さないでください。故障の原因となります。
- ・ SIM カードを逆向きに挿入すると故障の原因となります。
- ・ 取り外した SIM カードを紛失しないようご注意ください。

セットアップ

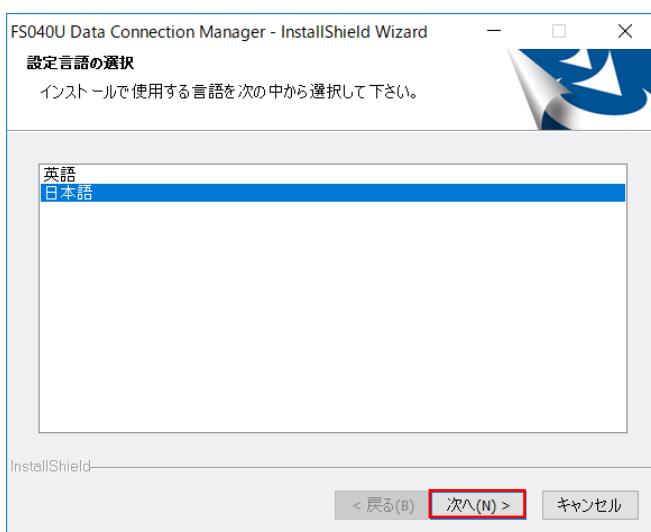
手順や画面表示は、Windows10 を例にして説明しています。

FS040U Data Connection Manager のインストール

1. パソコンの電源を入れ、OS を起動します。
2. パソコンの USB ポートに接続します。
3. CD ドライブへの操作を確認する画面を選択、「FS040U_DataConnectionManager.exe の実行」を選択します。

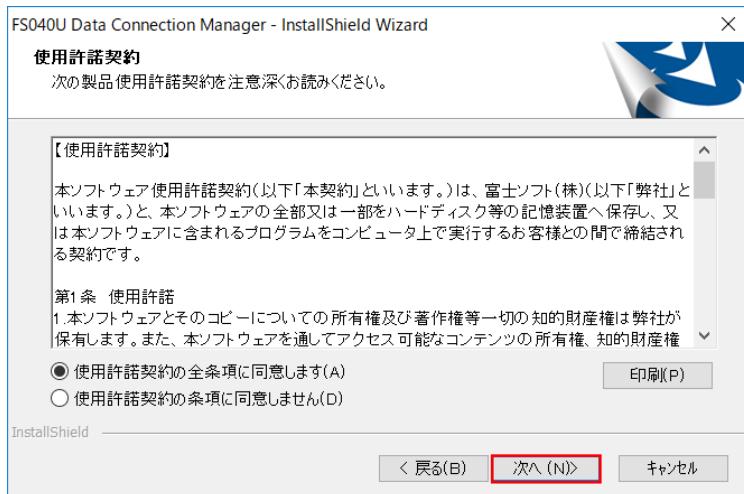


4. 選択言語の選択で「日本語」を選択し、「次へ」を選択します。

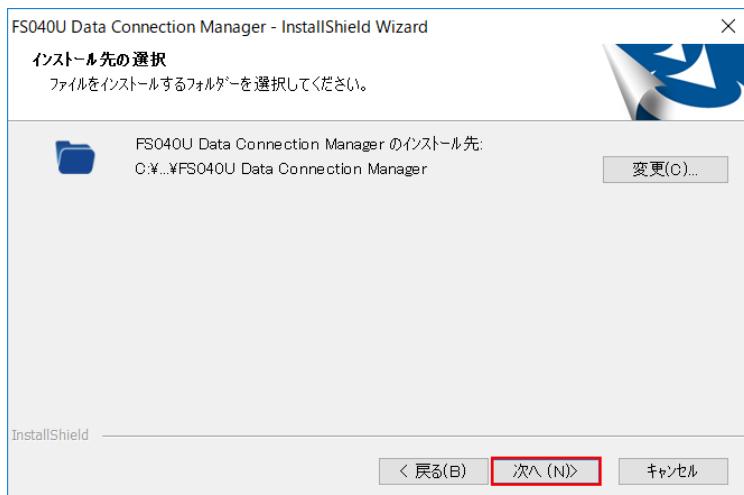


5. 「次へ」を選択します。

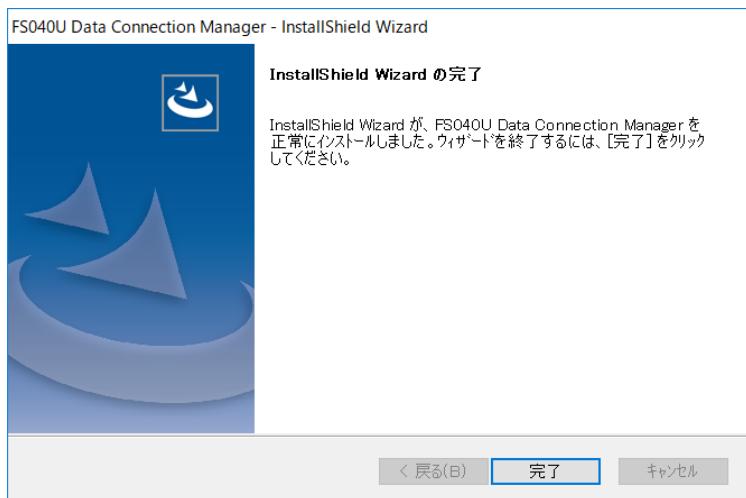
6. 「使用許諾契約」の内容を確認の上、「使用許諾契約の全条項に同意します」を選択し、「次へ」を選択します。



7. インストール先を選択し、「次へ」を選択します。



8. インストールが完了します。

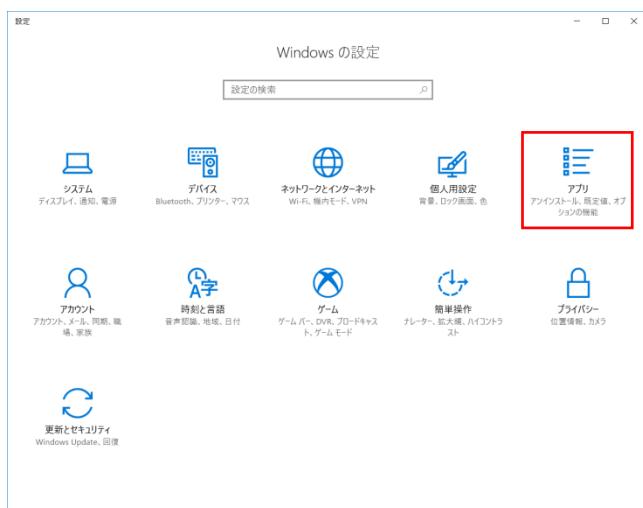


FS040U Data Connection Manager のアンインストール

1. スタートメニューから設定を選択します。



2. 「アプリ」を選択します。



3. FS040U Data Connection Manager を選択し、アンインストールを選択します。

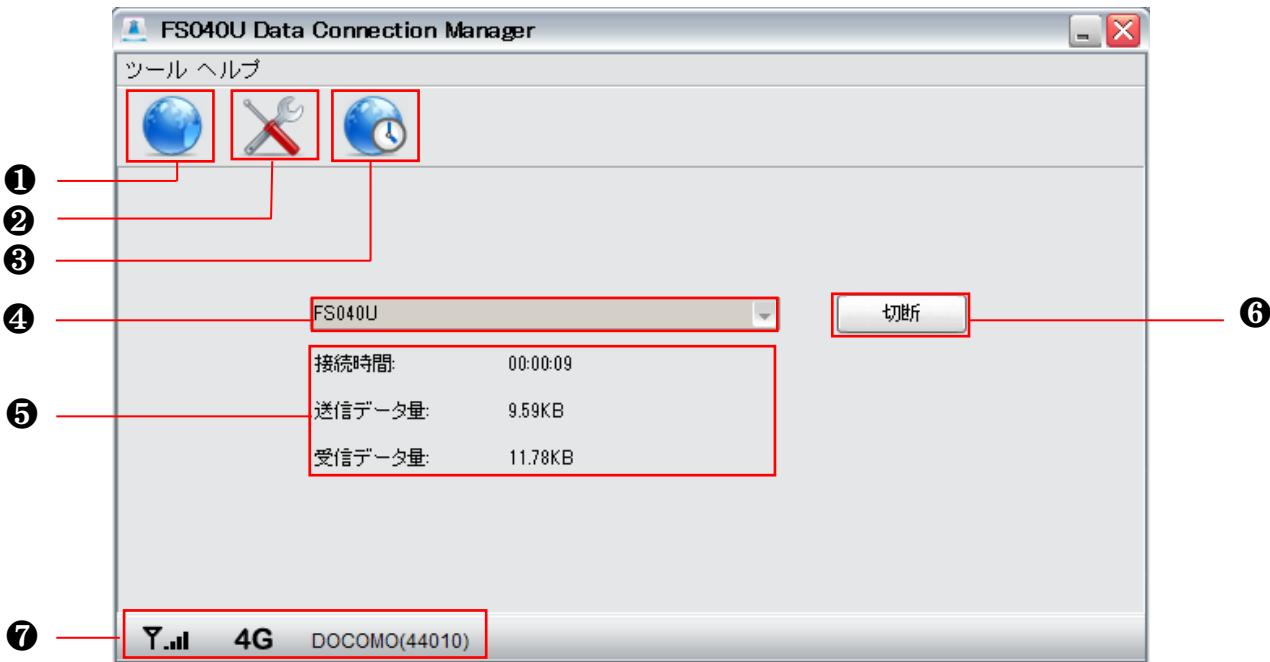


4. 「選択したアプリケーション、およびすべての機能を完全に削除しますか？」の確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、アンインストールが開始されます。

5. 「完了」をクリックします。アンインストールが完了しますのでパソコンを再起動してください。

FS040U Data Connection Manager

FS040U Data Connection Manager メイン画面の見かた



① 接続

メイン画面を開きます。

② 環境設定

接続設定、PIN 管理、ネットワーク設定の画面を開きます。

③ 接続履歴

ネットワークの接続履歴を表示します。

④ プロファイル名

接続先のプロファイル名を表示します。

⑤ 通信情報

ネットワーク接続中、以下の情報を表示します。

- ・接続時間
- ・送信データ量
- ・受信データ量

⑥ 接続/切断ボタン

ネットワークへの接続および切断時、このボタンをクリックします。

⑦ 状態表示エリア

本製品の状態を表示します。

[状態表示エリア(アイコン表示)]

FS040U Data Connection Manager の起動

1. 本製品をパソコンに接続すると自動起動します。

自動起動されない場合は、デスクトップにある FS040U Data Connection Manager のショートカットをクリックします。

FS040U Data Connection Manager の終了

1. メイン画面の上端にある「×」をクリックします。

接続設定

1.  をクリックします。
2. 「設定」→「接続設定」をクリックします。

[プロファイル設定]

データ通信を利用する為のプロファイル設定を行います。プロファイルの設定がされていない場合、データ通信が利用できません。必ず本設定を行ってください。

1. 設定画面で「接続設定」→「プロファイル設定」をクリックします。
2. プロファイル設定画面で「新規」をクリックします。

3. プロファイルの設定を行います。



① プロファイル名

任意のプロファイル名を入力します。
プロファイル名は最大「半角 64 文字」「全角 32 文字」まで
入力できます。

② ユーザ名

事業者より提供されているユーザ名を入力します。
ユーザ名は最大「半角 64 文字」まで入力できます。

③ パスワード

事業者より提供されているパスワードを入力します。
パスワードは最大「半角 64 文字」まで入力できます。

④ APN

接続先の APN を入力します。
APN は最大「半角 62 文字」まで入力できます。

⑤ 認証方式

事業者より指定される認証方式を「PAP」「CHAP」の
2 種類から選択します。

⑥ 接続方式

接続するプロバイダなどが対応する接続方式を「IPV4」「
IPV6」「IPV4V6」の 3 種類から選択します。

⑦ 接続時にユーザ名とパスワードを確認する

この項目にチェックを入れると接続毎にアカウントの確認
画面が表示されます。

4. 「OK」をクリックします。

5. 作成したプロファイルを選択して「接続先設定」をクリックします。

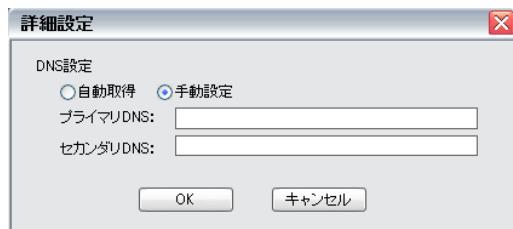
注意

- 事業者から指定された値を設定してください。設定を間違えると正しく接続できません。
- 「OK」をクリックしないと設定が変更されません。必ずクリックしてください。
- 複数のプロファイルの作成が可能です。指定するプロファイルで接続する際は、プロファイルを選択し、「接続先
設定」を行ってください。
- 各設定の最大文字数は FS040U の仕様であり、各事業者が指定する文字数の上限とは異なります。

[プロファイル詳細設定]

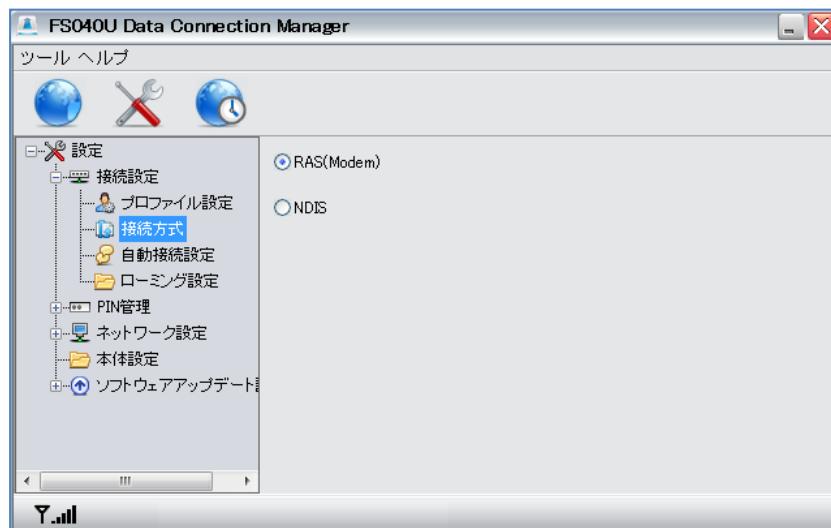
接続方式:RAS(Modem)を使用する場合、DNS サーバアドレスの手動設定が可能です。指定するアドレスがある場合は、以下手順で設定を行ってください。出荷時は全て「自動取得」が初期設定となります。

1. プロファイル新規作成画面、もしくはプロファイル編集画面で「詳細設定」をクリックします。
2. 手動設定を選択し、DNS アドレスを入力します。



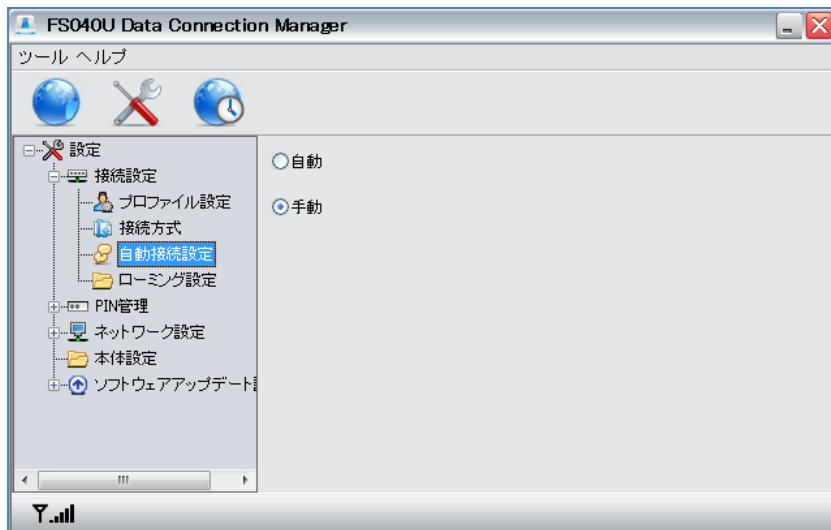
[接続方式]

FS040U はモデムを利用したダイヤルアップ(RAS)ならびに、ネットワークアダプター経由の接続(NDIS)が可能です。本画面より接続方法を選択してください。出荷時は RAS が初期設定となります。



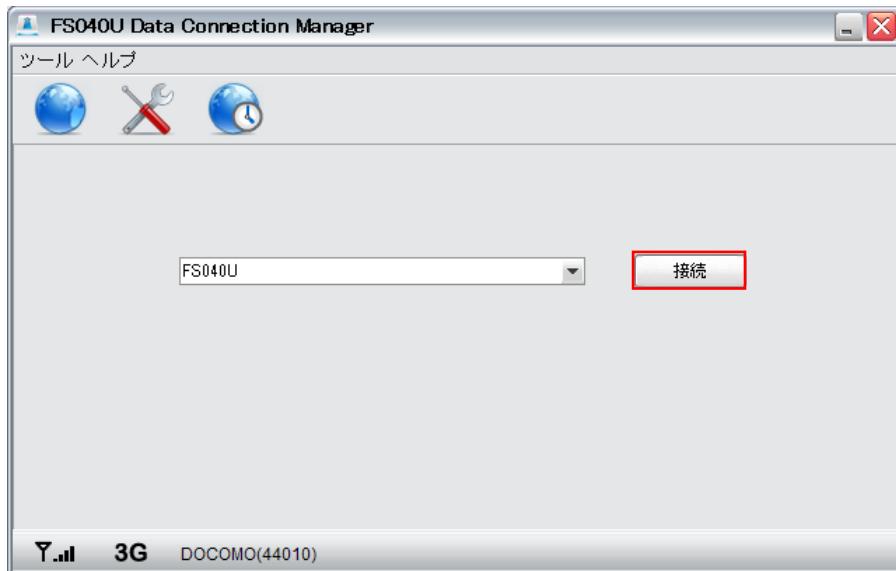
[自動接続設定]

FS040U Data Connection Manager 起動時に接続先設定したプロファイルで自動的に接続を行うことができます。本画面より接続方法を選択してください。出荷時は「手動」が初期設定となります。



ネットワークへの接続・切断

1. 本製品をパソコンの USB ポートに接続します。
2. 自動的に FS040U Data Connection Manager が起動します。
3. メイン画面で「接続」ボタンをクリックします。ネットワークへの接続が開始されます。



4. ネットワークへの接続が完了するとボタンが「切断」に変わり、接続時間、送受信データ量が表示されます。

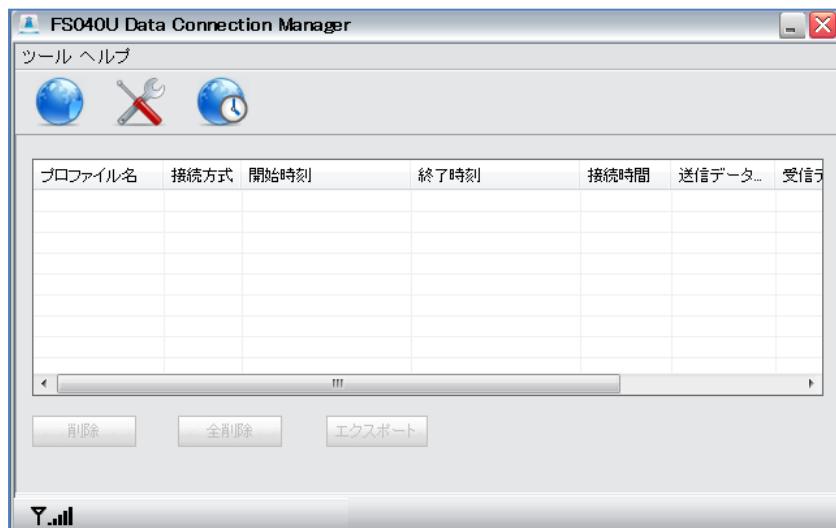


5. メイン画面で「切断」ボタンをクリックします。ネットワークへの切断が開始されます。

ネットワークへの切断が完了するとボタンが「接続」に変わります。

接続履歴

1.  をクリックします。接続履歴が表示されます。



[接続履歴のエクスポート]

1. エクスポートボタンをクリックします。接続履歴を csv 形式で保存します。

[接続履歴の削除]

1. 接続履歴の該当履歴を選択します。
2. 「削除」ボタンをクリックします。該当の接続履歴が削除されます。

[接続履歴の全削除]

1. 「全削除」ボタンをクリックします。接続履歴が全件削除されます。

PIN 管理

SIM カードは「PIN1 認証有効」「PIN1 認証無効」「PIN1 変更」の設定ができます。

PIN とは第三者による不正利用を防ぐための 4~8 衔のコードです。「PIN1 認証有効」に設定された場合、本製品をパソコンに接続する際に PIN コードの入力が必要となります。

お買い上げ時の設定については、購入先の事業者にお問い合わせください。

注意

- ・ PIN1 コードの初期値は事業者にご確認ください。
- ・ PIN1 コードは他人に知られないように十分注意してください。
- ・ PIN1 コードには「生年月日」「電話番号の一部」など分かりやすい番号は避けてください。
- ・ PIN1 コードの入力を 3 回間違えた場合、PIN ロック解除コードが必要となります。

詳しくはご契約先の事業者にお問い合わせください。

[PIN 有効]

1. PIN 管理画面で「PIN 有効/無効」を選択します。

2. 「有効」を選択します。



3. SIM カードに設定している PIN1 コードを入力します。PIN1 認証が有効となります。

[PIN 無効]

1. PIN 管理画面で「PIN 有効/無効」を選択します。

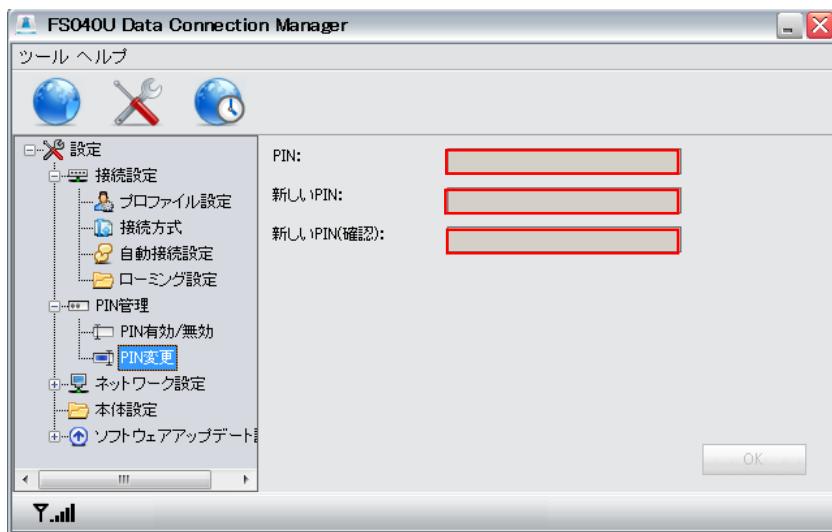
2. 「無効」を選択します。



3. SIM カードに設定している PIN1 コードを入力します。PIN1 認証が無効となります。

[PIN 変更]

1. PIN 管理画面で「PIN 変更」を選択します。



2. 現在設定している PIN1 コードを「PIN」に入力します。
3. 変更する PIN1 コードを「新しい PIN」に入力します。
4. 「新しい PIN(確認)」に「新しい PIN」で入力した PIN1 コードを入力します。
5. 「OK」をクリックします。

ネットワーク設定

お買い上げ時は利用するネットワーク(事業者)を自動的に検索して接続します。海外でご利用の場合など、接続するネットワークを手動で選択する場合は、以降の設定を行ってください。

[ネットワーク検索]

1. ネットワーク設定画面で「ネットワーク検索」を選択します。



2. 「手動」を選択します。

3. 「検索」をクリックします。

ネットワークを検索した後、検索されたネットワークが表示されます。

4. 表示されたネットワークを選択します。

5. 「選択」をクリックします。

注意

- ・ 海外で「手動」に設定した場合で、その後国内で使用する場合は「自動」設定に戻してください。
- ・ 海外で「自動」に設定している場合、利用中のネットワークがサービス外になると自動的に別のネットワークに接続します。
- ・ 手動設定後にネットワークへ接続できない場合、再度「自動」に切り替えたのち「手動」設定を行ってください。

[ネットワークモード]

ネットワークを検索する際に、優先的に検索するネットワークを指定することができます。

1. ネットワーク設定画面で「ネットワークモード」を選択します。



2. 優先的に検索する通信方式を選択します。

注意

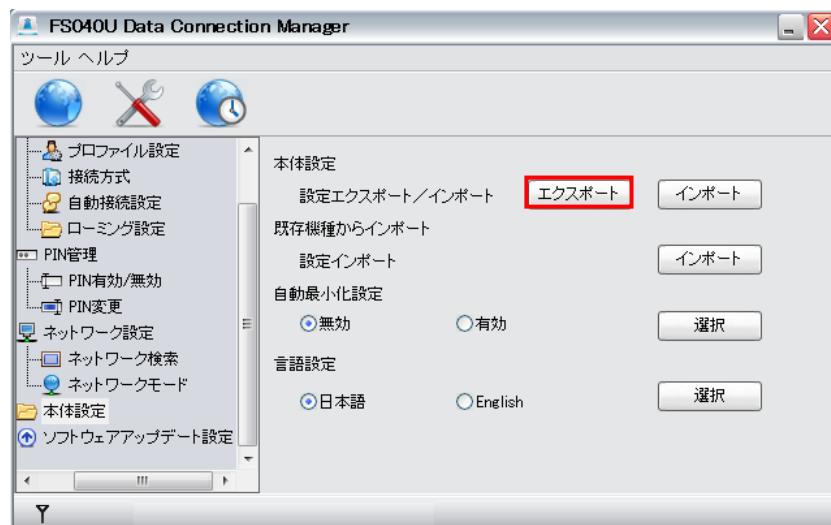
- ・ 海外で自動以外に設定している場合、その後国内で使用する場合は「自動」設定に戻してください。
- ・ 「3G Only」を選択した場合、4G(LTE)対応エリアであっても4G(LTE)通信はできなくなります。

本体設定

ネットワーク設定を除くデータ通信用ユーティリティソフト FS040U Data Connection Manager 上で設定した接続設定情報のインポート・エクスポート、既存機種の接続設定情報のインポート、ネットワーク接続時に FS040U Data Connection Manager を自動的に最小化する設定や日本語と英語の言語切替えを行います。

[本体設定のエクスポート]

1. 本体設定画面で「エクスポート」ボタンを押下します。



2. エクスポート先のフォルダを選択し、「保存」ボタンを押下します。

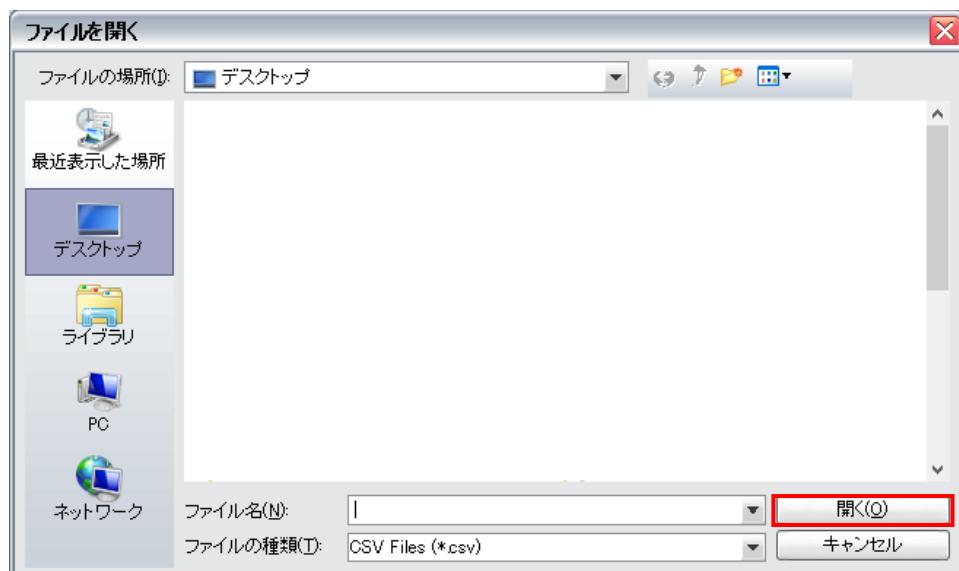


[本体設定のインポート]

1. 本体設定画面で「インポート」ボタンを押下します。

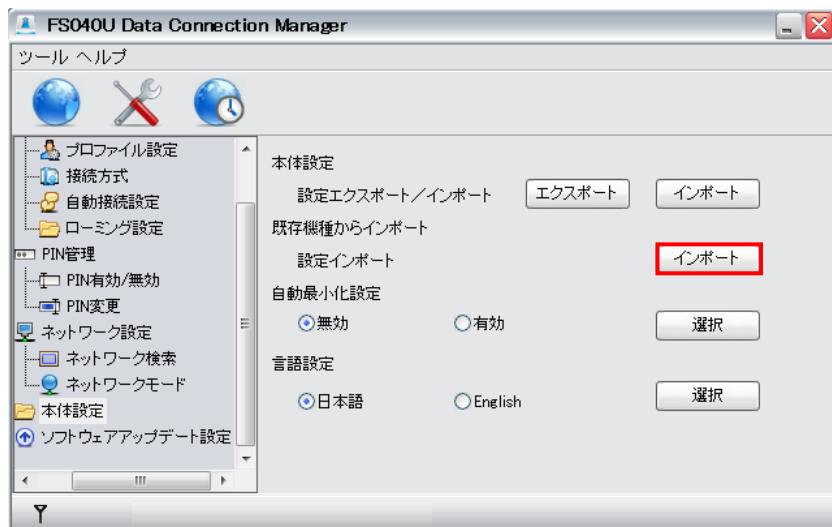


2. インポートするファイルを選択し、「開く」ボタンを押下します。

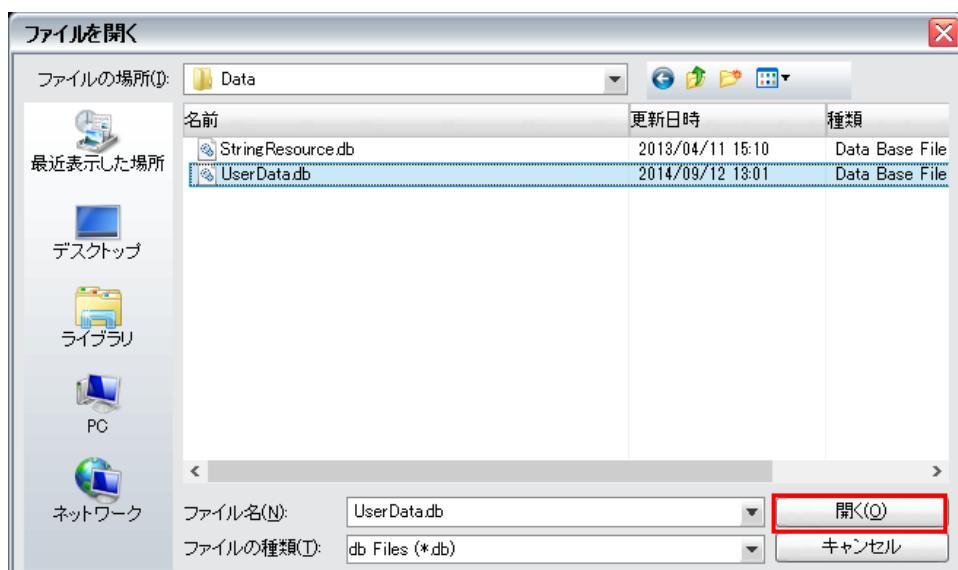


[既存機種からのインポート]

1. 本体設定画面で「インポート」ボタンを押下します。



2. 既存機種のインストールフォルダ(C:\Program Files\FS020U Data Connection Manager\Data)を指定します。
3. 「UserData.db」を選択し、「開く」をクリックします。既存機種の設定情報をインポートします。



注意

- 既存機種のインストールフォルダはインストール先によって異なる可能性があります。

[自動最小化設定]

1. 本体設定画面の自動最小化設定で、「有効」を選択し、「選択」ボタンを押下します。



注意

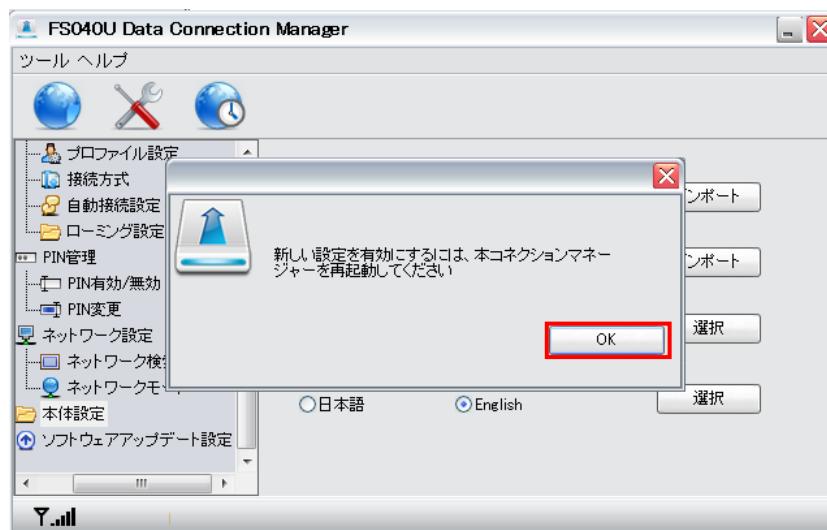
- ・ 本設定を有効にした場合、ネットワーク接続後に FS040U Data Connection Manager が自動的に最小化します。
- ・ デスクトップ画面右下のタスクトレイに表示されているアイコン()をダブルクリックすると、FS040U Data Connection Manager が表示されます。

[言語設定]

1. 本体設定画面の言語設定で、「English」を選択し、「選択」ボタンを押下します。



2. 再起動を促す画面が表示されたら、「OK」を押下し、FS040U Data Connection Manager を再起動します。



ソフトウェアアップデート

[オフラインアップデート]

最新のソフトウェアを当社ホームページからダウンロードし、ソフトウェアのアップデートをすることができます。

1. 当社ホームページからアップデートファイルを取得します。
2. 「アップデートファイルの選択」欄の「ブラウザ」ボタンを押下します。
3. パソコンに保存されているアップデートファイルを選択します。
4. 「開始」をクリックすると、本製品のアップデートが開始されます。

[オンラインアップデート]

最新のソフトウェア有無を確認し、最新のソフトウェアがある場合はオンラインでアップデートすることができます。

1. 「アップデート」を押下します。
2. 最新のファイルがある場合はアップデートが開始されます。手順に従いアップデートをしてください。

注意

- ・ アップデート中はステータスランプが黄色で点灯します。
- ・ オンラインアップデートは約 90 Mbyte 通信量が発生します。ダウンロードに関する通信料は、お客様負担となります。
- ・ アップデートは通信の安定している場所で実施してください。
- ・ アップデートが完了するまで、FS040U をパソコンから取り外さないでください。
- ・ パソコンのバッテリー充電が十分であることを確認してください。また、スリープ、休止状態などに入らないようパソコンの設定を確認してください。
- ・ ソフトウェアのアップデートには Windows パソコンが必要です。
- ・ ソフトウェアのアップデートは管理者権限(Administrator)を持つユーザーアカウントで行ってください。
- ・ オンラインアップデートを実施する際はインターネットに接続されていることを確認してください。

ネットワークエラーコード

本製品が接続できない場合にネットワークエラーコードが表示されます。

接続が出来ない場合はエラー内容を確認してください。なお、下記以外のエラーコードが表示される場合があります。その際は、ご契約先のお問い合わせ窓口へご連絡ください。

ネットワークエラーコード	主な原因
[27]	ユーザ名・パスワード・APN が誤っている可能性があります。
[29]	ユーザ名・パスワード・APN が誤っている可能性があります。
[30]	対応していない接続方式(IPV6)を設定している可能性があります。
[38]	対応していない SIM カードを使用している可能性があります。

注意

- ネットワークエラーコードが表示されない場合は、お使いのパソコンに正しくインストールされていない可能性があります。接続できない場合は、FS040U Data Connection Manager を再インストールしてください。

付録

主な仕様

製品名	FS040U
外形寸法	約 95mm(H) × 約 32mm(W) × 約 12.2mm(D)
質量	約 39g
インターフェース	USB 2.0
消費電力	<p>最大消費電流 4G(LTE):約 600mA 以下 3G:約 430mA 以下</p> <p>平均消費電流 4G(LTE):約 570mA 以下 3G:約 400mA 以下</p>
環境条件	<p>動作温度範囲:-10～55°C</p> <p>動作湿度範囲:0～85% (結露なきこと)</p>
対応周波数	4G(LTE) : 800MHz / 1500MHz / 1800MHz / 2100MHz / 2500MHz 3G : 800MHz / 850MHz / 2100MHz
通信方式	<p>4G(LTE) : DL 150Mbps / UL 50Mbps 3G : DL 42Mbps / UL 5.76Mbps</p> <p>ご利用の通信方式や地域によって、最大通信速度が異なります。</p> <p>また、ベストエフォート方式のため、回線の混雑状況や通信環境などにより、通信速度が低下、もしくは通信できなくなる場合があります。</p>

輸出管理規制

本製品及び付属品は、日本輸出管理規制(「外国為替及び外国貿易法」及びその関連法令)の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制(Export Administration Regulations)の適用を受けます。本製品及び付属品を輸出及び再輸出する場合は、お客様の責任及び費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問い合わせください。

Declaration of Conformity



Hereby, [FUJISOFT INCORPORATED] declares that the radio equipment type [FS040U] is in compliance with Directive 2014/53/EU.

Contact information:

Manufacturer: FUJI SOFT INCORPORATED

Manufacturer address: 1-1 Sakuragi-cho, Naka-ku, Yokohama-shi,
Kanagawa 231-8008, Japan

FCC Regulations

This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

This device has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

Changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

RF Exposure Information(SAR)

This device meets the government's requirements for exposure to radio waves. This device is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government. The exposure standard for wireless device employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit set by the FCC is 1.6W/kg. *Tests for SAR are conducted using standard operating positions accepted by the FCC with the device transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the device while operating can be well below the maximum value. This is because the device is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a wireless base station antenna, the lower the power output. SAR compliance has been established in the host product(s) (laptop computers), tested at 5mm separation distance to the human body, and tested with USB slot configurations including Horizontal-UP, Horizontal-Down, Vertical-Front, Vertical-Back. This device can be used in host product(s) with substantially similar physical dimensions, construction, and electrical and RF characteristics. The highest SAR value, tested per FCC RF exposure guidelines for USB dongle, as described in this user guide, is 1.13W/kg. The FCC has granted an Equipment Authorization for this device with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF exposure guidelines. SAR information on this device is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section of www.fcc.gov/oet/ea/fccid after searching on.

FCC ID: 2ANKMFS040U.

知的財産権

※Microsoft®、Windows®は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

※その他、記載の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

オープンライセンスの告知

本製品は GNU General Public License(Version2)など、各種ライセンスが適用されたオープンソフトウェアを使用しています。詳細は下記のホームページをご参照ください。

<https://fsi-plusf.jp/index.html>

本製品で使用しているオープンソフトウェアのソースコードをご希望の場合はホームページのお問い合わせよりご連絡ください。

<https://fsi-plusf.jp/inquiry/index.html>

- ・ 本書の内容は一部でも無断転載することは禁止されております。
- ・ 本書の内容は将来、予告無しに変更することがあります。

製造元 富士ソフト株式会社

発行年月 2023年10月 第2版